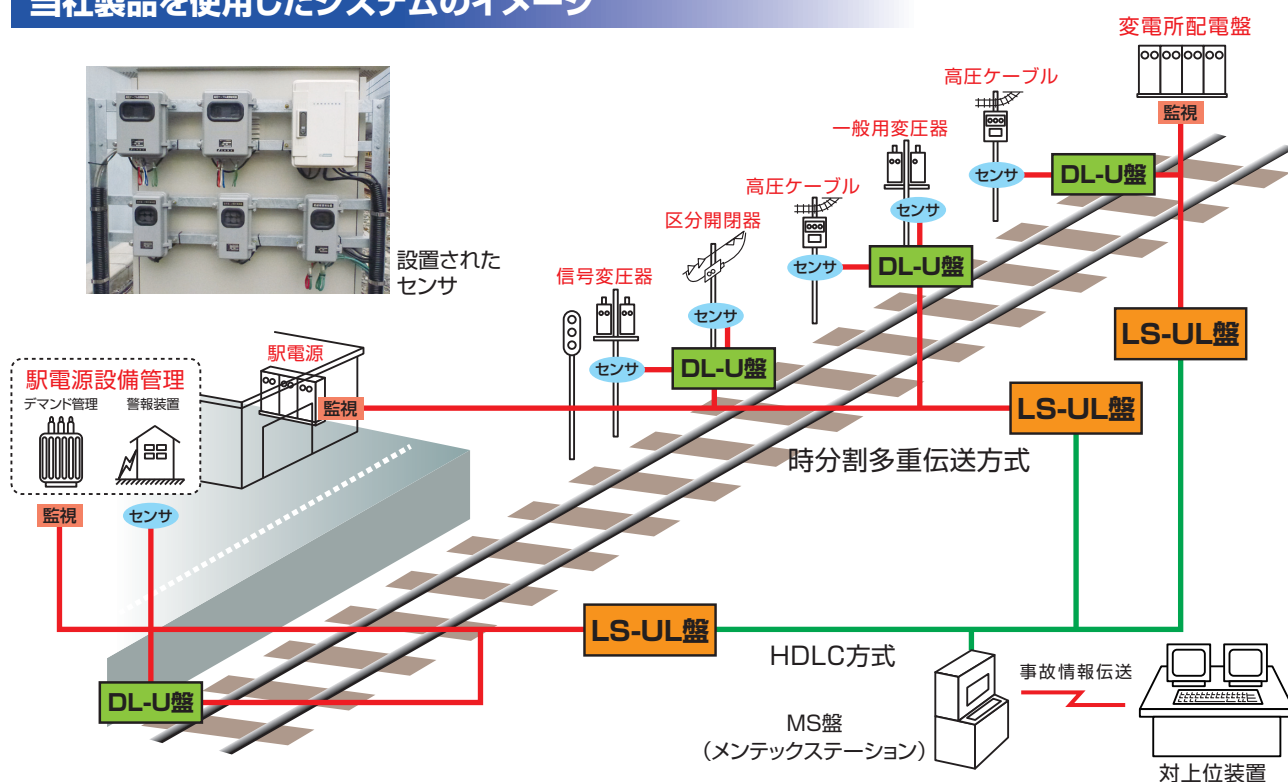


常態情報システム

当社製品を使用したシステムのイメージ



早期発見 故障の早期発見!

常態情報システムとは、電力線路沿線に点在する重要設備の状態を常時監視し、万一故障が発生した場合は、その故障情報をデータ伝送で保全担当箇所へ表示するシステムです。事故時のダウンタイム短縮・事故探索の省力化が図れます。

**SANKI**



■センサなどの被監視設備の近くに設置され、センサ等からの故障接点信号をLS-UL盤へ伝送する装置です。

DL-U盤	外形寸法	質量	使用周囲温度	入力方法	通信速度
	400H×300W×200D (取付金具除く)	約10kg	0～40℃	無電圧接点(メーク・ブレイク/瞬時・連続)	512bps
Digital Local-Universal line	電源電圧	監視点数	伝送方式	伝送距離	回線構成
	DC48V (DC18～72V)	7点	時分割多重伝送方式	約10km (LS-UL盤より電源供給の場合、約2km)	マルチドロップ



■駅や電気室などに設置され、DL-U盤からの情報を集約し、HDLC伝送方式にてMS盤へデータ伝送する装置です。

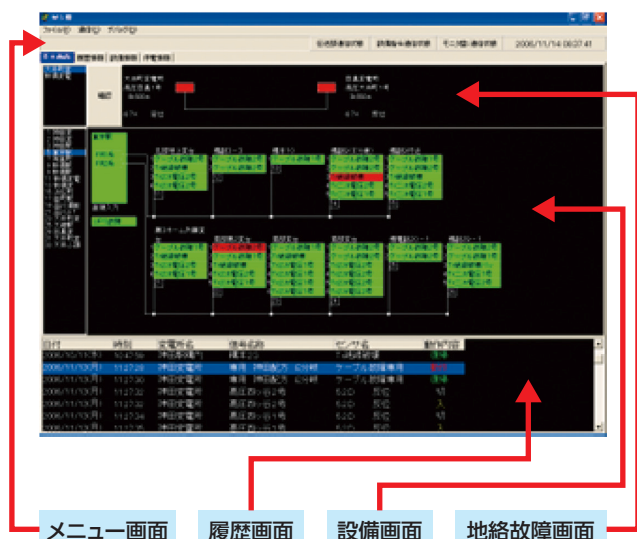
LS-UL盤	外形寸法	質量	使用周囲温度	対DL-U盤 伝送方式	対DL-U盤 通信速度
	960H×800W×375D (取付足除く)	約120kg	0～40℃	時分割多重伝送方式	512bps
Local Station-Universal Line	電源電圧	DL-U盤接続台数	対MS盤 伝送方式	対MS盤 通信速度	
	AC100V±10%	最大32台 (1回線8台まで×4回線)	HDLC伝送方式	1200bps	



■保全等の監視箇所に設置され、LS-UL盤と伝送を行う伝送部と、表示処理などの行うPC部とで構成されます。

MS盤	外形寸法	使用周囲温度	対MS盤 伝送方式	対MS盤 通信速度
	1575H×652W×500D (ラック寸法)	+10℃～+40℃	HDLC伝送方式	1200bps
Maintec Station	電源電圧	LS-UL盤接続台数	対上位装置接続方法	対上位装置通信速度
	AC100V±10%	最大25台 (50アドレスまで)	SHDSLモデムによる伝送	200kbps～2.3Mbps

画 面



機 能

- 高圧配電線路に設置された区分開閉器の地絡継電器の動作を監視し、地絡継電器の動作状態と変電所情報とを処理し、地絡故障区間を出力する機能があります。
- トランス二次電圧検知器動作時は、変電所27の状態を確認し、計画停電であるか事故停電であるかを判別して出力します。

特 徴

- DL-U盤はLS-UL盤より電源を供給されますので、現地にて電源を用意する必要がありません。
- 時分割多重伝送方式はノイズに強い伝送方式です。



株式会社 三輝製作所

本 社

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目28番12号 新御徒町KMビル 2F
 NTT: TEL 03-3831-4301 FAX 03-3831-4302
 J R: TEL 057-3779 FAX 057-3789

大阪事業所

〒565-0803 大阪府吹田市新芦屋下4番17号
 NTT: TEL 06-6876-3571 FAX 06-6876-7607
 J R: TEL 071-3718 FAX 071-3718 (切替)

